

2016.4月号

平成28年4月15日発行

発行元 NPO法人陽だまり
 発行元住所 〒739-0025
 東広島市西条中央7-17-35-101
 電話 082-422-4115
<http://www.npo-hidamari.or.jp>

陽だまりクラブ特集

活動報告 / 代表あいさつ

訪問介護 / ケアマネジャー/こどもくらぶ

事務局日より



「陽だまりクラブ」特集

会員制たすけあい活動「陽だまりクラブ」はおかげさまで16年目に入りました。
 今号では、活動のエピソードや魅力などをお伝えします。

活動者さんはこんな人たち

陽だまりクラブの活動者さんは約50人。40歳以上がほとんどで70代も15%います。優しくあたたかな人ばかりで、心温まる物語がたくさん生まれました。今号ではその一つをご紹介します。

Sさん 40代女性

福祉を知らずに通り過ぎてしまうところだったけれど、おかげで人との交流が上手できるようになりました。

Fさん 70代男性

何かしてあげるだけでなく自分のためにもなり、視点が新しくなりました。

学生会員も誕生

陽だまりクラブではこの度「学生会員」を創設しました。登録できるのは高校を卒業した18歳以上の学生で、年会費は半額の1,000円です。先日、学生会員第1号が誕生しました！さっそく犬の散歩をしてくれ、大変喜ばれました。

会員募集中 陽だまり活動者募集中です！！最近では病院内の付き添いや自宅での見守り、子育てのお手伝いなどのご依頼も増えてきています。できることをできる時間に…。あなたにできることを始めてみませんか？そして、陽だまりの活動に少しでも興味を持っている方がいらっしゃいましたら、ぜひ陽だまりに遊びがてらお話を聞きに来てくださいね！お待ちしております。（コーディネーター：山口百合）

エピソード

幸多くん 物語

ボク、幸多。コウタと読みます。7才。
 僕のお父さんが、たくさんの幸せがありますように付けてくれたんだ。
 ボクは、とっても優しい飼い主のお父さんとお母さんのところで幸せに暮らしていたんだ。でも、お父さんは病気で入院することになって、お母さんも体の具合が悪くなって、ヘルパーさんの助けが必要な体になっていったんだ。

ボクは誰もいない家に一人でいることになったんだ。

だけど、ボクを心配して、お母さんのヘルパーさんやケアマネジャーさんが、ボランティアでご飯をくれたり、お庭を散歩させてくれたんだ。

そして、お父さんは、春に ケアマネジャーさんを通して「陽だまり」の助け合い活動をお願いしてくれたんだ。外へ連れて行ってもらうのは久しぶりだったので、とっても楽しくって嬉しかったよ。いろんな人が来てくれて、ボクはおずわり、お手、伏せ なんかも出来るようになったよ。

でも、夏が過ぎた頃には、お父さんとお母さんの病気が進んで、ボクを飼っている事が出来なくなっていったんだ。

“幸多くんに新しい家族を見つけたい”

みんながそう思ってくれて、いろんな人にボクのことを話してくれたり、チラシを作って貼ってくれたり、ホームページに載せてくれたりしたんだ。

“あったか家族募集中”

ある女の子が、ボクの写真入りのチラシを見てくれたんだ。
 ボクの写真を見て、その人の娘さんが 飼いたいと言ってくれたんだ。ボクに新しい家族が見つかって、今までお世話をしてくれたみんなが本当に良かったねって、涙を流して喜んでくれたよ。

秋が深まったころ、お父さんは天国に行ってしまったけど、ボクは本当にいろんな人のお世話になって、もうすぐ新しい家族と暮らし始めるよ。
 ボクを息子のようにかわいがってくれたお父さん、安心してね。
 これからも、たくさんの人を幸せに出来ますように…。

幸多



陽だまり活動報告

活動者の集い

12月7日、活動者さんを対象とした研修会「活動者の集い」を開催しました。前半は「陽だまりの歴史・理念」「利用者理解」などを講義形式で行い、後半は「活動を広げるためには」をテーマに意見交換を行いました。毎年新しい会員さんが入ってくるので、なぜ「陽だまりクラブ」が大切なのか、その理念を伝え続けることを大切にしています。そして、活動中にあったトラブルは全員で共有して同じ失敗をしないように心がけています。今回はさらに、活動者さんの機転で家の中で倒れていた利用者さんを大家さんや市役所に連絡して助け出した事例など、活動者さんの対応で無事解決した事例を4つ紹介しました。

今後も定期的に活動者さん向けの研修や交流会を開き、国の制度や介護保険の仕組み、市のサービスなども伝えていきたいと思ひます。



和やかに意見交換



事例紹介するコーディネーターの山口

(報告：市川マヤ)

視察報告

12月9日と1月16日に、事務局スタッフ5人で移動サービス(福祉有償運送)を行っているNPO法人へ視察に行きました。視察先は「NPO法人 Piano Piano」(三原市)と「障害者自立生活支援センターおのみち」(尾道市)です。どちらも障害者事業をメインに行っています。「生きていく上で社会資源を上手に使う力が必要との考えから、福祉有償運送よりバスやタクシーを活用している」というPiano Pianoさん。「長時間の外出を支えるため

にヘルパーサービスと連動して移動サービス(福祉有償運送)を行っている」おのみちさん。それぞれ特徴がありましたが、共通しているのは学生を支援者として活用していること、当事者が中心であるという理念を持っていることでした。

ヘルパー部会の報告によると、東広島市では障がい者の移動ニーズに応えきれていないという現状があります。今回の視察を生かして、陽だまりでできることを考えていきたいと思ひます。

(報告：市川マヤ)

新年度にあたって



代表理事 市川マヤ

春がやってきました。毎年この時期になりますと、無事に1年が過ぎたことの安堵と、支えてくださった多くの方々への感謝の気持ちでいっぱいになります。

昨年もまた出会いに恵まれた1年でした。特に、乳幼児を連れた子育てサークルのママさんたち、地域活動に感心のある学生さんたちとの出会いは、陽だまりに新しいつながりを作ってくれました。高齢者や小学生が共に過ごした時間を喜んだのは言うまでもありませんが、私たちスタッフも若い人たちの柔軟な発想や行動力に触れて、「このまちはきっとよくなる」というワクワクした希望に包まれました。

陽だまりには人を引きつける不思議な力、磁場のようなものがあるように思えてなりません。なぜだろう…と考えてみると、やっぱり陽だまりが「あたたかくて」「ぬくもり」に満ちていて、「やさしい」人たちが集まっているからです。人間は社会的動物で人の中でしか生きてゆけないと言ひます。人間関係が希薄になりがちな今、陽だまりは人と人をつなぐ「接着剤」の役割、「居場所」の役割を果たしていきたいと思ひます。

「このまちに住んでよかった」を目指して、今年度もスタッフ一同心を込めて取り組んで参ります。引き続きご支援・ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。



訪問介護

2月に入り、ご利用者の急な体調不良から受診、入院となるケースが3件続きました。ご自宅での長時間対応、受診付き添いや入院中の洗濯など、陽だまりクラブのたすけあい活動で対応しました。いずれのケースも一貫して、日頃から訪問している顔なじみのヘルパーで柔軟に対応することができました。今後も、ご利用者様がお困りの時には、迅速に、安心していただけるようご支援させていただきます。



研修について

平成27年7月から社内研修として毎月1回、ヘルパー全員で実技研修を行っています。2月は、スポーツセンターおりづるにて車いすとアリーナをお借りし、広々とした場所で車いす介助と床からの立ち上がり動作の研修を行いました。ご利用者様に不安感や恐怖心を与えない介助ができるよう、繰り返し練習を行いました。ヘルパー同士の交流の機会にもなっており、有意義な時間を過ごすことが出来ました。(報告：寺内あけみ)



ケアマネジャー

サービスの質の向上を目的に1月に「利用者アンケート」を実施したところ、大変高い評価をいただきました。これを励みにこれからもがんばって参ります。

「アンケート」結果

1. ケアマネジャーの言葉使いや態度は丁寧ですか。
(はい 74% ふつう 26%)
2. ケアマネジャーは相談しやすいですか。
(はい 96% 無記入1名)
3. ケアマネジャーはプライバシーの配慮をしていますか。
(配慮している 91% 無記入2名)
4. ケアマネジャーの説明は分かりやすいですか。
(分かりやすい 96% 無記入1名)
5. ケアマネジャーはサービスの利用状況や心身の状態を把握した上で、ご希望に沿った介護計画を立てていますか。
(そう思う 100%)
6. 以前より安心できる生活になったと思いますか。
(そう思う 91% 変わらない4% 無記入1名)
7. 事務所の電話対応はいかがですか。
(丁寧 39% ふつう 39% 電話しない22%)

(報告：石井弥生)

放課後こどもくらぶ

1月17日(日)、広島学童保育研究集会(於：鈴峯短期大学)に2名で参加しました。テーマは「ありのままの自分でいられるということ～子どもを取り巻く現実と自己肯定感～」で、京都教育センター代表の高垣忠一郎先生の記念講演がありました。

皆さん!ぞうさんの歌って「私が私であって大丈夫」という自己肯定感の歌だって知っていましたか。個性の尊重とは、例えば英語ができるパソコンができるといった特技のことを言うのではなく、その人が丸ごと持っている持ち味であり、その人でしかない雰囲気のことなんです。「自分の人生をしっかりと生きられる主人公になっていく」。そのためには、まず自分と仲良しになり、たくさんやることを抱えながらもへこたれずに生きている自分はすごい!と思うことなんです。

私の2人の息子が小学生の頃、ソフトボールとサッカーで忙しい毎日を過ごし、落ち着いて話せる時間を取らなかったなあ…と今更ながら反省しました。陽だまりに来る子どもたちには、「ありのままの自分」が出せるように、これからも寄り添っていきます!

(報告：山本陽子)

保護者の声

保育園の時は外で遊ばない子で、人と交わるのも苦手だったけれど、公園で遊ぶことが好きになり、よくしゃべるようになりました。

保護者の声

子どもがリラックスして安心して過ごせる雰囲気づくりをし、付き合い方を子どもによってきめ細かな調整してくれる。いろいろな取組み、イベントを通じて子どもにチャレンジの機会を提供してくれる。皆さんの支えで家族が楽しく安心して過ごせています。

事務局だより

福祉車両を増車

この度、24 時間テレビからスロープ付き普通自動車（ホンダ フリード）をいただけることが決まり、2月19日に無事納車されました。これまで陽だまりが所有するスロープ付き車両は軽自動車だけでしたが、普通自動車が加わることで、電動車いすなどより多くの車いすに対応できるようになりました。いただいた福祉車両をフル活用して、今まで以上に高齢者・障がい者の外出をお手伝いすることで、募金して下さった多くの方々の思いに応えていきたいと思っております。外出にお困りの方がいらっしゃいましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



広島テレビで贈呈式



晴れの日納車 (*^_^*)

ご寄付のお礼

昨年12月に「陽だまりクラブ」と「放課後こどもくらぶ」の運営を支えるご寄付をお願いしましたところ、103名の個人の方と企業様2社から計483,000円のご寄付をお寄せいただきました。心からお礼申し上げます。

いただきましたご寄付は下記のとおり使わせていただきます。今後も変わらぬご支援をくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 陽だまりクラブ（約38万円）

- ・福祉車両（ホンダフリード）の任意保険料、取得税等初期費用、スタッドレスタイヤ購入費

2. 放課後こどもくらぶ（約10万円）

- ・スタッフ増員のための人件費補助

ラジオ出演

2月7日、市川が東広島FMの番組「青春リフレイン」に出演し、NPO法人設立のきっかけや「陽だまりクラブ」「放課後こどもくらぶ」についてお話ししました。後日、ラジオを聴いた人から「陽だまりのヘルパーになりたい」と連絡があり、共感してくれた人がいたんだと嬉しく思いました。これからも、声がかかれば出かけて行って、陽だまりの理念を広く伝えていこうと思っております。



新スタッフ紹介

放課後こどもくらぶでは、昨年末（冬休み）からスタッフを一人増員し、管理者・山本陽子、責任者・長谷川舞穂（新任）の体制となりました。今まで以上に子どもたちが充実感と満足感をもって過ごせるように、スタッフ一同力を合わせてがんばってまいりますので、よろしくお願いいたします。

長谷川舞穂

（ニックネーム：まほちゃん）

①特技・趣味： 読書、料理

②スタッフになった動機：

将来の夢のため、子どもと関わ

り日々の生活の中で考え勉強し自分の力とするため。

③関わりで大切にしていること：

子ども一人一人の様子に気をつける。

④ひと言：

責任者としてまだ未熟ですがよろしくお願い致します。



定期総会のお知らせ

6月19日（日）13:30より平成28年度総会を開催します。場所はサンスクエア（西条プラザ隣り）です。会員のみなさまには改めてご案内を出しますので、ぜひご出席ください。

